証券コード6566

株式会社 要興業　個人投資家向け説明会資料

2022年12月

目次

1．　会社概要

1.　会社概要　…　P 3～4
2.　経営理念・経営方針　…　P 5
3.　沿革　…　P 6
4.　収集運搬車両　…　P 7
5.　拠点図・グループ会社・出資先企業　…　P 8～15

2．　廃棄物処理業界の特徴

廃棄物処理業界の特徴①～②　…　P 17～18

3．　事業内容

1.　当社のビジネスフロー　…　P 20
2.　事業区分別の売上高構成　…　P 21
3.　収集運搬・処分事業　…　P 22～33
4.　リサイクル事業　…　P 34～39
5.　行政受託事業　…　P 40～47

4．　2023年3月期　連結業績・配当予想

1.　売上高　…　P 49
2.　利益額　…　P 50
3.　2023年3月期の配当予想　…　P 51

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.会社概要

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.1.1会社概要

社　　名	株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD.
本　　社	東京都豊島区池袋 2丁目14-8　池袋エヌエスビル
代 表 者	代表取締役社長　木納孝
創　　業	昭和47（1972）年6月
設　　立	昭和48（1973）年4月
資 本 金	8億2773万6875円
収集運搬車　　両	450台（2022年3月末日時点、連結） 310台（2022年3月末日時点、単体）
事業内容	• 収集運搬・処分事業 • リサイクル事業 • 行政受託事業

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.1.2.創業50周年を迎えることができました

			社会の出来事
			2月 廃棄物処理法 公布
			月 札幌オリンピック開催
			0月 第一次オイルショック
			月 成田国際空港開港
			月 第二次オイルショック
1980	昭和55年	3月 東京都豊島区高松へ本社移転。資本金900万円に増資。	

創業期の車両基地です

車両はこのタイプが主流でした

当時より足立区が拠点でした

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

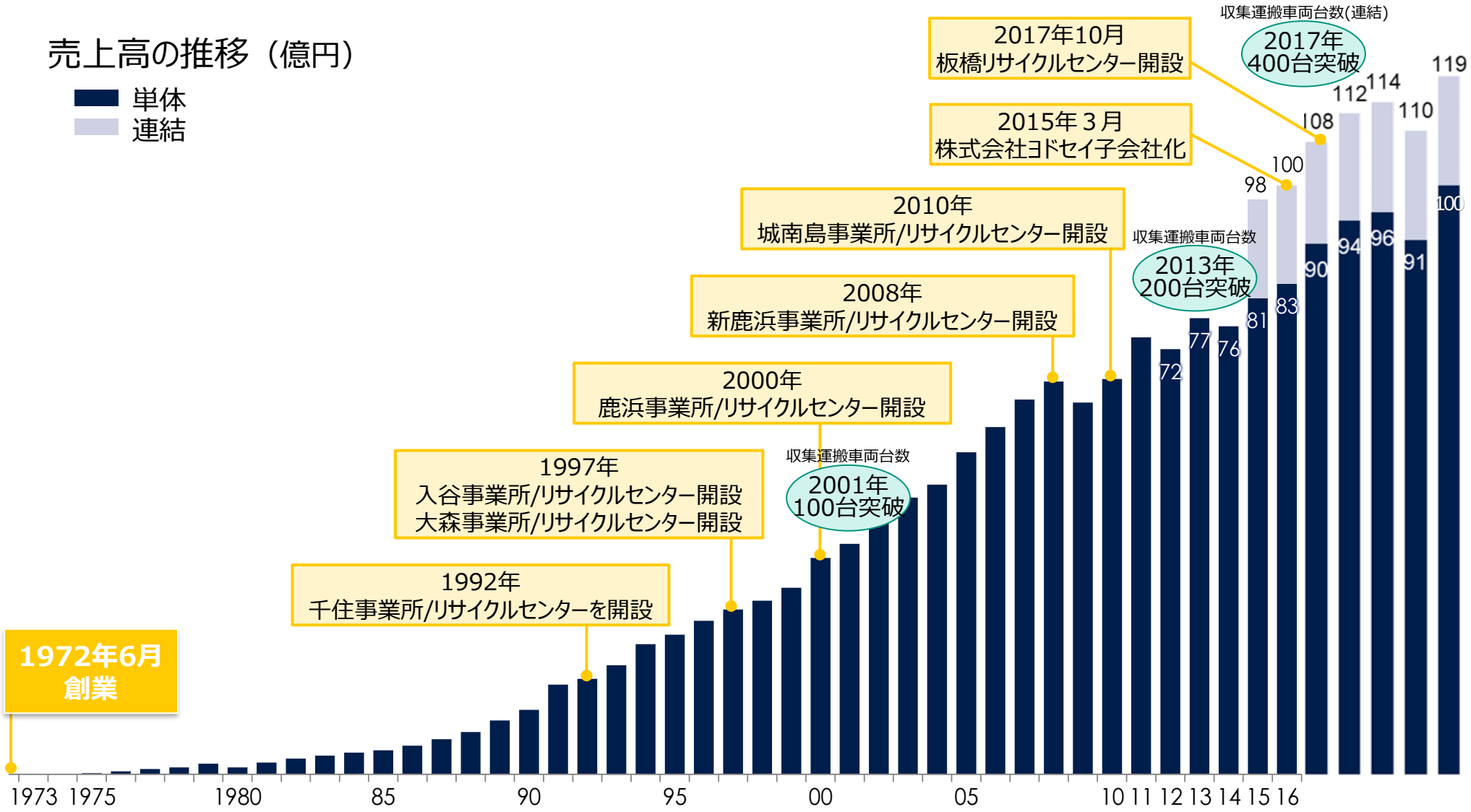
経営方針

- 快適な都市生活と資源の循環を推進するため
  適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- 永続発展をめざし、株主と社員を大切にします

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.3.沿革

創業以来、順調に事業を拡大し、成長を継続



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.4.収集運搬車両

収集運搬車両台数は450台（2022年3月末日時点、連結。単体で310台）

● 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）

● 感染性廃棄物運搬車

● 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）

● 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）

● 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）

● 計量車両

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.1.拠点図・グループ会社・出資先企業

本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

産 産業廃棄物

本社

足立支社

入谷事業所 第1・第2入谷リサイクルセンター

- 古紙の選別・圧縮
- 機密書類の裁断
- 行政委託資源物の処理
- 木製家具の選別
- ふとんの選別
- 機密性プラ製品の破砕 産
- 発泡スチロールの破砕・溶融 産
- スプレー缶・ライターの破砕 産

板橋事業所 板橋リサイクルセンター

- 行政委託資源物の処理
- スプレー缶・ライターの破砕 産
- 蛍光ランプの破砕 産

板橋区

足立区

豊島区

子会社 (株)ヨドセイ

- 一般家庭の廃棄物の収集運搬
- 事業系廃棄物の収集運搬

新鹿浜事業所 新鹿浜リサイクルセンター

- 行政委託資源物の処理
- 廃プラスチック類の破砕 産

城南島事業所 城南島リサイクルセンター

- 行政委託資源物の処理
- 廃プラスチック類・金属くずの破砕 産

大田区

鹿浜事業所 鹿浜リサイクルセンター

- 産業廃棄物の積替保管 産
- 粗大ごみの破砕 産
- 蛍光ランプの破砕 産

出資先

バイオエナジー(株)

- 食品廃棄物のバイオ発電

(株)アルフォ

- 食品廃棄物の飼料化・バイオ発電

大森事業所 大森リサイクルセンター

- ビン・缶・ペットボトルの破砕・選別圧縮・圧縮梱包 産
- 廃プラスチック類の圧縮 産

千住事業所 千住リサイクルセンター

- 行政委託資源物の処理
- 事業系一般不燃廃棄物の圧縮
- ビン・缶・ペットボトルの破砕・選別圧縮・圧縮梱包 産
- 廃プラスチック類の圧縮 産

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.2.千住リサイクルセンター

主にビン・缶・ペットボトルのリサイクルを行っているリサイクルセンター

びん缶PET選別ライン

産廃 缶ベール

行政受託 PETヤード

全景

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.3.入谷リサイクルセンター

古紙、発泡スチロール、不燃ごみ資源化等、様々なリサイクルを行っているリサイクルセンター

第一入谷

行政受託 不燃ごみ選別資源化

木製家具

機密媒体プラスチック

発泡スチロール

第二入谷

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.4.大森リサイクルセンター

ビン・缶・ペットボトルのリサイクルを行っているリサイクルセンター

びん缶PET選別ライン

廃プラスチック類圧縮プラント

PETベール

入口

全景

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.5.鹿浜リサイクルセンター

粗大ごみの破砕、蛍光灯の破砕、産業廃棄物の積替え保管等をしているリサイクルセンター

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.6.新鹿浜リサイクルセンター

不燃ごみ選別資源化、廃プラスチック類の破砕処理を行っているリサイクルセンター

全景

行政受託 不燃ごみ選別資源化

産廃 廃プラスチック類のヤード・破砕機

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.7.城南島リサイクルセンター

容器包装プラの圧縮、ペットボトルの圧縮、廃プラ類の破砕を行っているリサイクルセンター

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

1.5.8.板橋リサイクルセンター

不燃ごみ資源化、蛍光灯の破砕、スプレー缶・ライターの破砕を行うリサイクルセンター

手選別

傘の解体

コード類

蛍光ランプ

スプレー缶

ライター

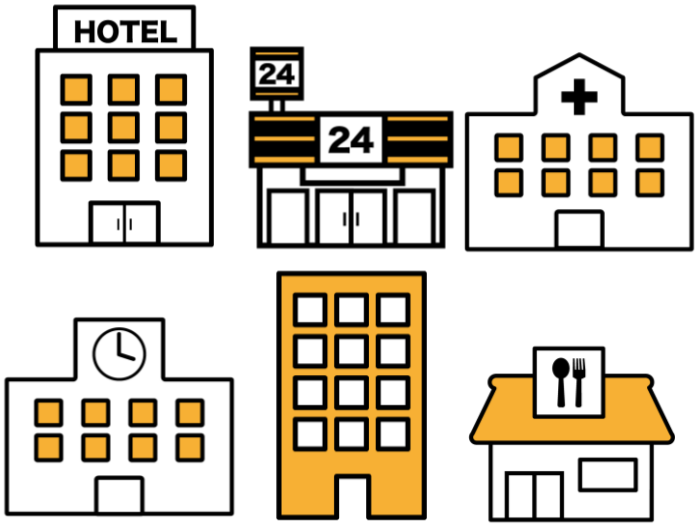
Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

2.廃棄物処理業界の特徴

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

2.1.廃棄物処理業界の特徴①

廃棄物処理業界は、対象とする廃棄物・地域・お客様でセグメントされている業界



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

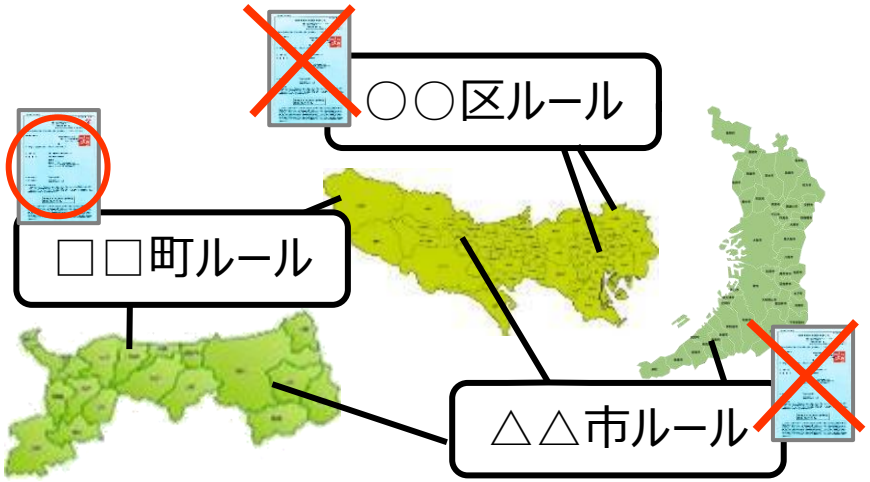
2.2.廃棄物処理業界の特徴②

廃棄物処理法を始めとした環境関連の法的要求事項の順守が絶対条件となる業界

- 他者の廃棄物を収集運搬・処分するためには、自治体の許可を得ることが必須

一般廃棄物

原則として、市町村（東京23区の場合は各区）内で処理を終えなければならない。



※事業系について、申請すれば許可を出すというルールではない。

廃棄物処理法第7条第5項には、「許可の申請が法に記載の内容のいずれにも適合していると認めるときでなければ、収集運搬業の許可をしてはならない。」旨の記載あり。

産業廃棄物

収集運搬・処分を業として営むためには、都道府県・政令市等の許可が必要。

越境規制
産廃税
現地確認

種類品目が違う

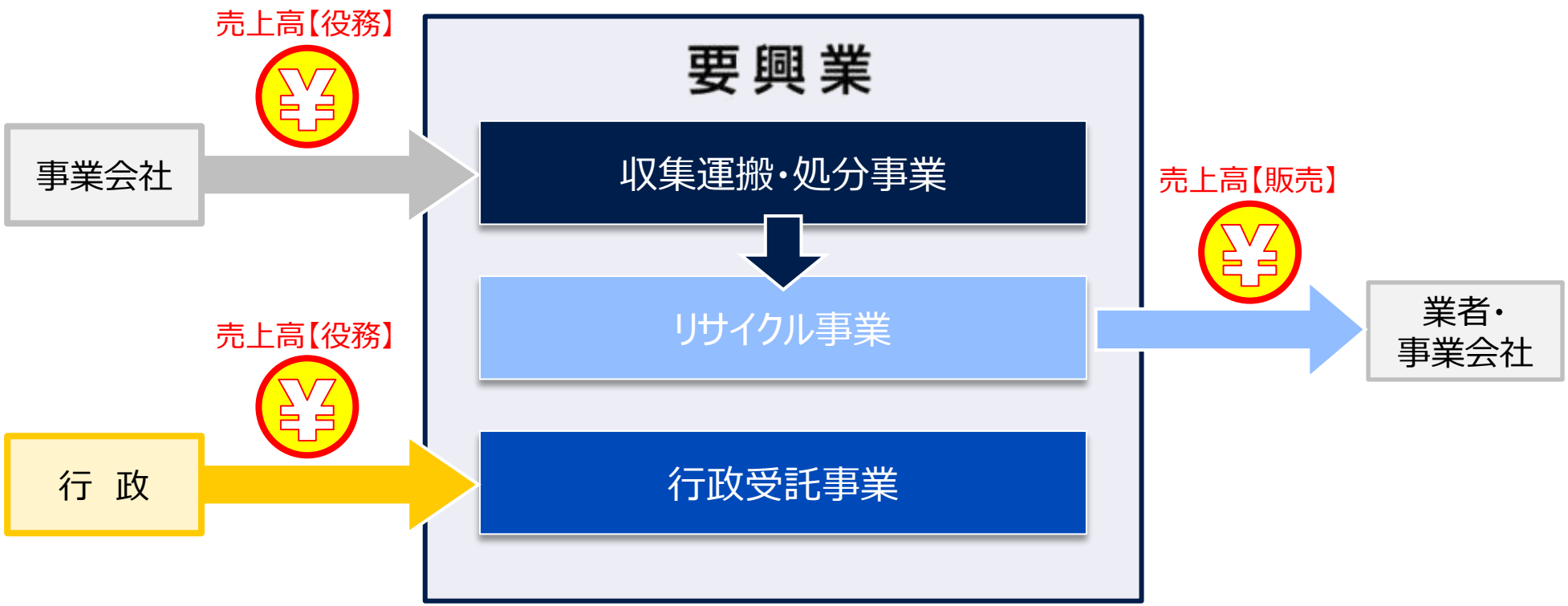
Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.事業内容

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.1.当社のビジネスフロー

廃棄物の収集運搬・処分に対するフィー収入に加え、リサイクル事業での販売収入を計上

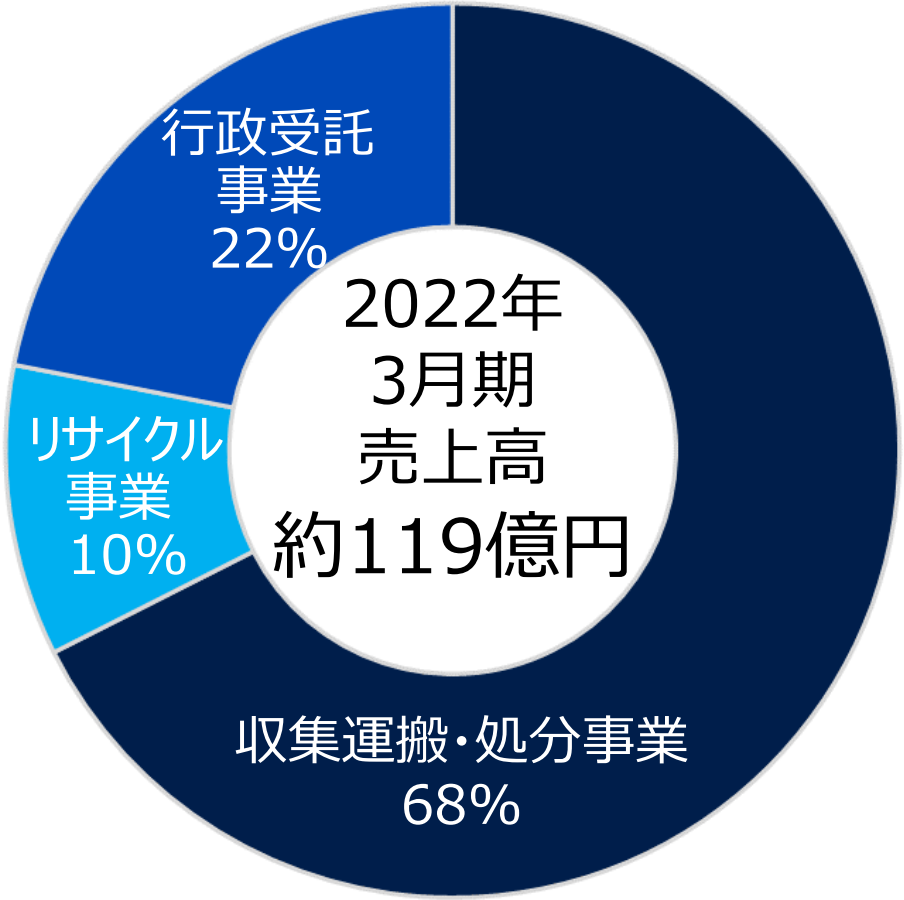


Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.2.事業区分別の売上高構成

事業区分別の売上高構成は、概ね以下の割合

当社グループは総合廃棄物処理業の単一セグメントであるものの、事業区分は下記の3つとなります。収集運搬・処分事業の売上が全体の68%、リサイクル事業の売上が10%、行政受託事業の売上が22%を占めます。



【事業区分別の売上高】

収集運搬・処分事業	80億6000万円
リサイクル事業	12億5600万円
行政受託事業	26億1700万円

【車両数（2022年3月末時点）**】**

連結　450台

単体　310台

【従業員数（2022年3月末時点）**】**

連結　807名

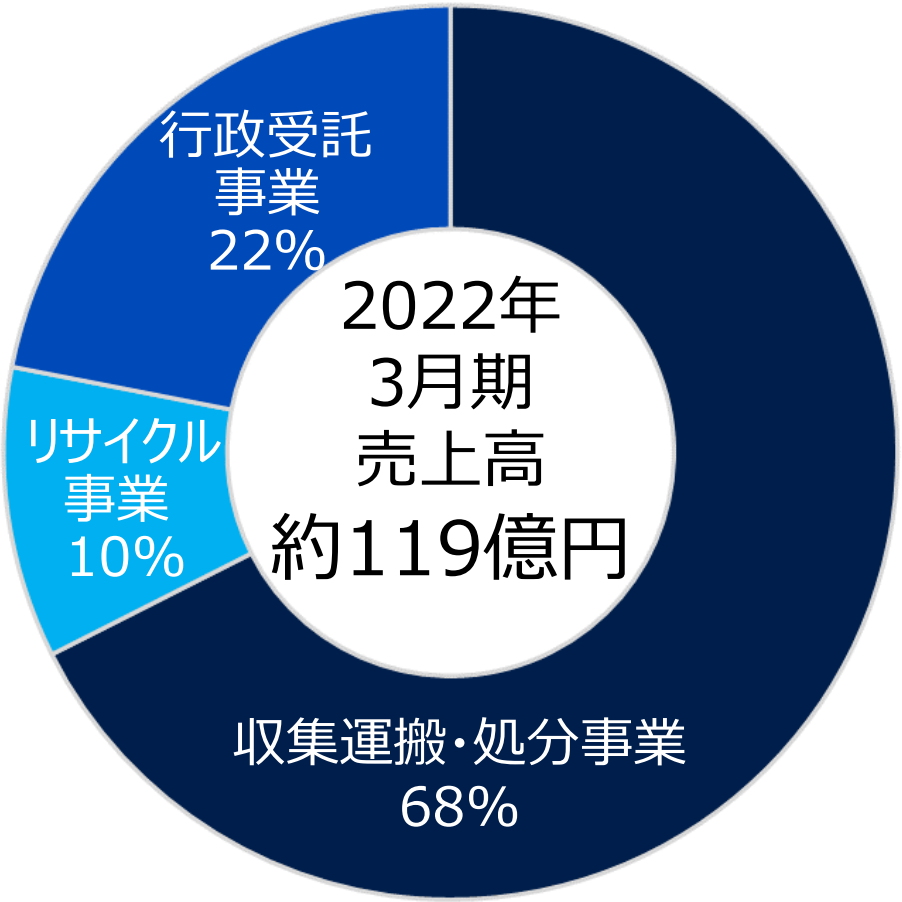
単体　645名

※アルバイト・パートタイマー等含む

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.1.収集運搬・処分事業

収集運搬・処分事業は全体の約70%を占める当社グループの根幹事業



収集運搬・処分事業

68%

リサイクル事業

10%

行政受託事業

22%

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.2.収集運搬・処分事業とは

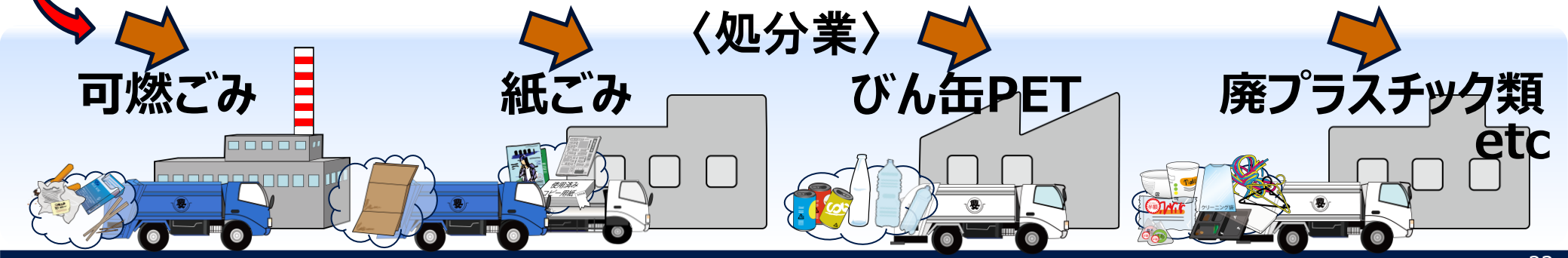
事業所毎に契約を結び、契約内容通りに廃棄物を収集し、処分場に運んで処分をする事業

〈収集運搬業〉

種類・品目ごとに
それぞれの車両で回収し、

種類ごとにそれぞれの処分場へ運搬する。

〈処分業〉



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.3.要興業の強み～日常出る廃棄物を回収できる～

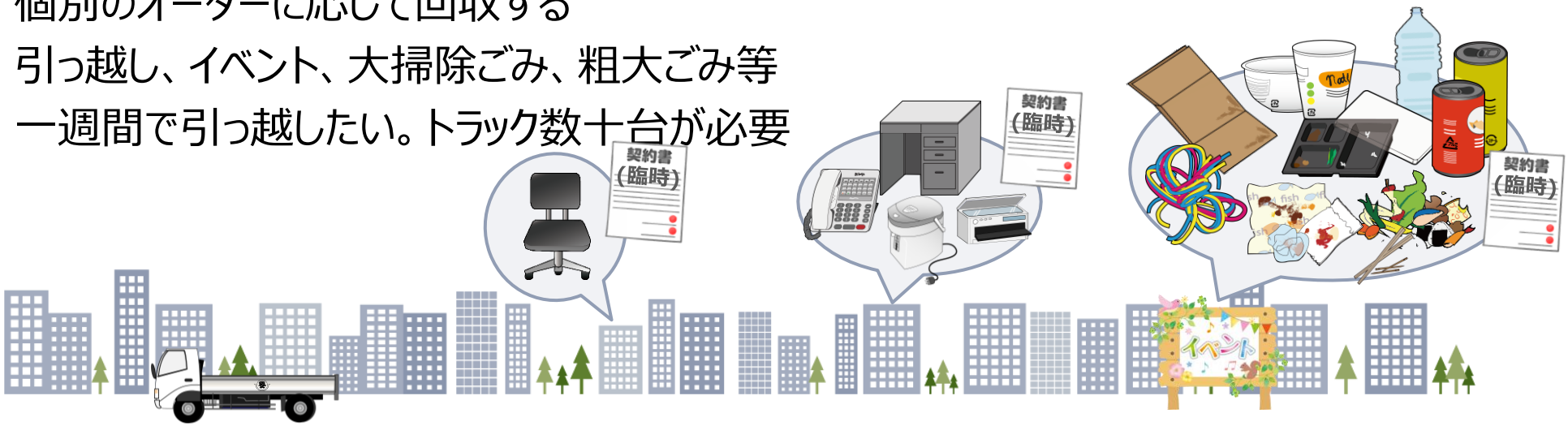
当たり前に思われるかもしれないサービス水準を50年間維持している

定期回収

- 決められた頻度で回収する
- 一般可燃廃棄物、飲料容器、感染性廃棄物、食品リサイクル等
- 年末年始、雪が降っても、新型コロナウイルスが蔓延しても欠かさず

臨時回収

- 個別のオーダーに応じて回収する
- 引っ越し、イベント、大掃除ごみ、粗大ごみ等
- 一週間で引っ越したい。トラック数十台が必要



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.4.要興業の強み～廃棄物処理法を順守している～

排出事業者にとって、廃棄物処理法違反は大きなリスクとなる

- 廃棄物の処理は、排出事業者に処理責任があり、違反すると重い罰則がある
- 廃棄物処理法は、排出事業者だけで守ることは極めて困難な法律
- 順法しており、排出事業者の順法に協力してくれる業者を選ぶ必要がある

排出事業者に関わる主な違反行為と罰則

違反項目 （排出事業者に係る主なもの）	罰則	措置命令
廃棄物の不法投棄・不法焼却	5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金又はこの併科	適用
無許可業者への委託禁止違反		適用
無許可営業		-
措置命令違反		-
廃棄物の処理・保管基準に係るもの改善命令違反	3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金又はこの併科	適用
委託基準違反		適用
マニフェスト 不交付・未記載・虚偽記載・保存義務違反・未受領時の適正措置義務違反	1年以下の懲役若しくは100万円以下の罰金	適用

（出典）産業廃棄物適正処理ガイドブック　東京都環境局　令和元年10月　※一部抜粋

安いだけで決めるのではなく、
処理業者を見極めて、委託する必要がある

排出事業者の責任範囲

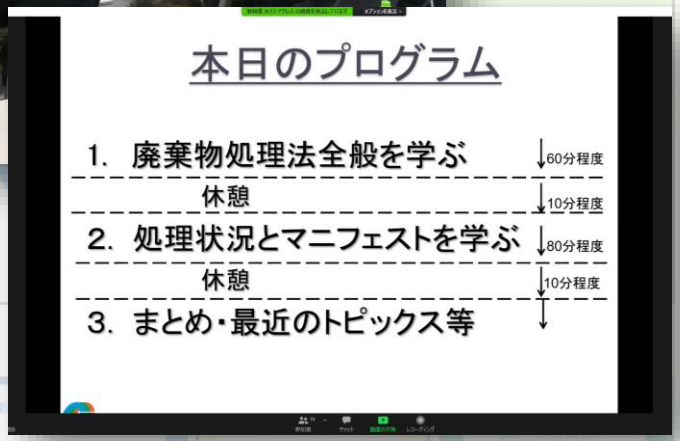
⇒処理方法、処理フローを知る

処理業者による不適正行為が発覚したら、
排出事業者に責任が問われます。

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

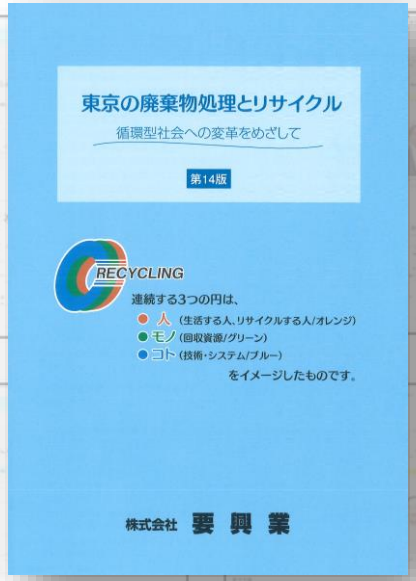
3.3.5.要興業の強み～廃棄物処理法を順守している～

廃棄物処理法の啓発



廃棄物セミナー

新型コロナウイルス蔓延による感染拡大防止を
きっかけに、オンラインでの開催を始めて現在に至ります



小冊子

改訂を重ねて、
現在第14版

かなめ環境ニュース

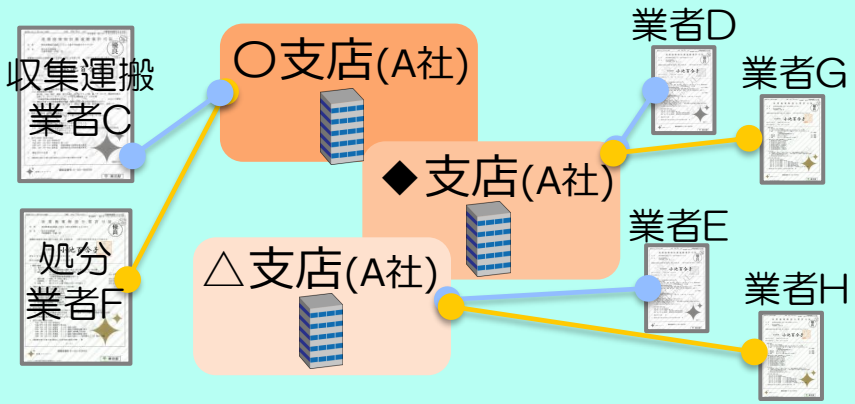
四半期ごとに発行、
現在VOL67

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.6.要興業の強み～東京23区内に7箇所の自社のリサイクルセンターを所有～

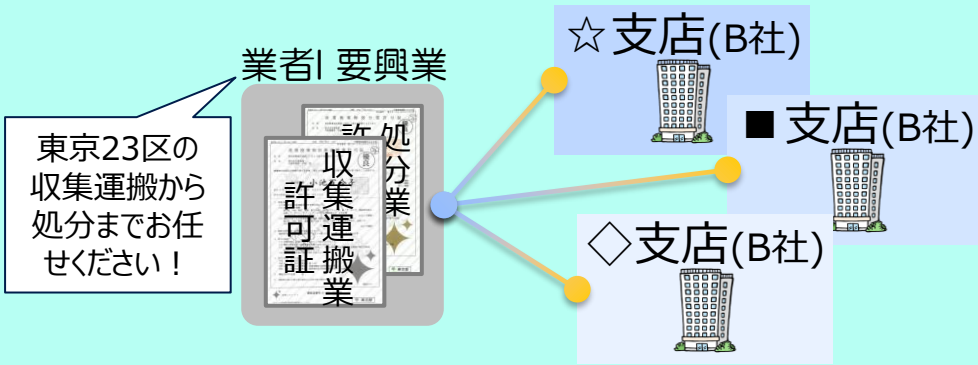
東京23区内に7箇所の処分場を有していることが排出事業者の利便性と安心につながる

収集運搬・処分それぞれの契約が必要



産業廃棄物の処理を委託する際は、
事業所毎に、収集運搬の契約と処分の契約を締結する必要がある。

収集運搬・処分の契約を一本化できる



複数の事業所が複数の廃棄物を複数の処分先に処分委託するのは煩雑だが、要興業の場合は収集運搬と処分を合わせた契約でよい。

処分先については、排出事業者は現地を確認する義務がある

A社

契約した処分業者が多ければ、
その分、現地確認先が増える

B社

23区内にある要興業のリサイクルセンターを
確認するだけで、現地確認の義務が遂行できる

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.7.要興業の強み～23区内で最大手 カテゴリーで唯一の上場企業～

2017年12月に東京証券取引所第2部に上場して、約5年が経過

東京23区内で最大手　カテゴリーで唯一の上場企業

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.8.要興業の強み～優良産廃処理業者の認定を取得～

東京都が認めた優良産廃処理業者であり、産廃のエキスパート企業

様式第九号の二（第十条の六関係）　令和　4年　7月29日　4環資産廃第1766号

許可番号　第13－20－002721号

産業廃棄物処分業許可証

優良

住所　東京都豊島区池袋二丁目14番8号池袋エヌエスビル

氏名　株式会社菱興業
代表取締役　木納　孝

廃棄物の処理及び清掃に関する法律　第14条第6項　の許可を受けた者であることを証する。

東京都知事　小池百合子

許可の年月日　平成27年12月24日

許可の有効年月日　令和　4年12月23日

1　事業の範囲
（1）業の区分：処分（中間処理）
（2）処分の方法と取扱う産業廃棄物の種類（処分に係る限定は2ページ目以降）
ア　破砕　：廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）　（以上4種類）
イ　選別圧縮　：金属くず（空缶に限る。）　（以上1種類）
圧縮梱包　：廃プラスチック類　（以上1種類）
ウ　溶融　：廃プラスチック類（発泡スチロールに限る。）　（以上1種類）

2　事業の用に供する施設（施設詳細は2ページ目以降）
（1）東京都足立区千住桜木二丁目18番11号
（2）東京都足立区入谷九丁目16番19号
（3）東京都大田区大森南四丁目10番6号
（4）東京都足立区堀之内一丁目14番15号
（5）東京都足立区入谷九丁目28番20号
（6）東京都足立区鹿浜一丁目4番8号
（7）東京都大田区城南島二丁目8番1号
（8）東京都板橋区新河岸二丁目20番18号

3　許可の条件
（1）作業時間は、原則として8時から17時までとし、機器の稼働時間は8時間とすること。
（2）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。
（3）中間処理は都の承認を得た方法により行うこと。

4　許可の更新・変更の状況
平成　5年　12月　24日　新規許可
平成　27年　12月　24日　更新許可　第4回
令和　元年　6月　12日　変更届　2（8）施設の追加
令和　2年　3月　30日　変更届　2（3）施設の圧縮梱包機入替え
令和　3年　2月　16日　変更届　2（2）施設に破砕機3台追加
令和　3年　11月　22日　変更届　2（1）施設の選別圧縮機入替え
令和　4年　6月　27日　変更届　2（3）施設の蛍光ランプ破砕機を2（4）施設に移動

5　規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無　無

（1／3）

産廃エキスパート　都認定番号：5－20－C0043

東京都

このマークは東京都の優良認定事業者のマークです。

「優良産廃処理業者認定制度」

2010年の廃棄物処理法改正に基づいて創設され、2011年4月1日より施行された国の制度。

認定されると、業の許可証に、「優良」マークが表示される。

当社は2011年8月に、“東京都 産業廃棄物処分業/産業廃棄物収集運搬業/特別管理産業廃棄物収集運搬業“において認定を受けて以来、優良産廃処理業者認定を維持している。

東京都 収集運搬許可業者は、全体で18,162社
うち優良産廃処理業者は301社(約1.7%)

「産廃エキスパート・プロフェッショナル認定制度」

2009年10月に東京都が創設した
産業廃棄物処理業者の第三者評価制度。

当社は2010年2月に評価を受けて以来、
産廃エキスパートとして、評価を維持している。

東京都 収集運搬許可業者は、全体で18,162社
うち産廃エキスパートは145社(約0.8%)

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.9.要興業の強み～ISO14001、ISO27001、CSR、SDGsへの取組～

大企業のヘッドオフィスが立ち並ぶ都市の事業者の要望にこたえて様々な取組を行う

ISO 14001
マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-EM2435

登録事業者：
株式会社　要興業
足立支社
東京都足立区鹿浜７－９－２

ISO 14001 :2015 ／ JIS Q 14001 :2015

登録日　：2002年　6月 14日
登録更新日：2020年　6月 14日
有効期限　：2023年　6月 13日

一般財団法人 日本品質保証機構
理事長　小林　憲明

JQA

ISO 14001
付属書

登録証番号：JQA-EM2435

登録事業者：
株式会社　要興業
足立支社

登録活動範囲：
・廃棄物収集運搬・中間処理・再生
・資源物収集運搬・中間処理・再生

関連事業所：[活動範囲：興上]
・鹿浜リサイクルセンター
東京都足立区堀之内１－１４－１５
・入谷リサイクルセンター
東京都足立区入谷９－２８－２０
東京都足立区入谷９－１６－１９
・新鹿浜リサイクルセンター
東京都足立区鹿浜１－４－８
・千住リサイクルセンター
東京都足立区千住桜木２－１８－１１
・大森リサイクルセンター
東京都大田区大森南４－１０－６
・城南島リサイクルセンター
東京都大田区城南島２－８－１
・板橋リサイクルセンター
東京都板橋区新河岸２－２０－１６

登録日　：2002年　6月 14日
登録更新日：2020年　6月 14日
有効期限　：2023年　6月 13日

一般財団法人 日本品質保証機構
理事長　小林　憲明

JQA

ISO14001の認証取得

SDGsへの取組

bsi.
Certificate of Registration

情報セキュリティマネジメントシステム － ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014

This is to certify that:

株式会社要興業
〒171-0014
東京都
豊島区
池袋2-14-8
池袋エヌエスビル

Kaname Kogyo Co., Ltd.
Ikebukuro NS Bldg.,
2-14-8 Ikebukuro,
Toshima-ku,
Tokyo
171-0014
Japan

登録登録番号：　IS 523039

上記組織が登録登録番号IS 523039を保有し、また下記認証登録範囲の情報セキュリティマネジメントシステムについてISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014の要求事項に適合していることをここに証します。

機密情報の処理サービスの提供（機密書類及び媒体の収集、運搬、処分）
2021年9月24日付適用宣言書 第4版
The Provision of services for handling of confidential information
-Collecting, Transportation and Disposal of confidential document and media
Statement of Applicability, issued on 29/Sep/2021, Version 4.

For and on behalf of BSI:

代表取締役社長 浦澤 将樹

初回認証登録日：2007-11-06
最新更新日：2022-10-21
発効日：2022-11-06
有効期限日：2025-11-05

Page: 1 of 2

...making excellence a habit.™

認証登録番号：　IS 523039

所在地	認証登録範囲
株式会社要興業 〒171-0014 東京都 豊島区 池袋2-14-8 池袋エヌエスビル Kaname Kogyo Co., Ltd. Ikebukuro NS Bldg., 2-14-8 Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0014 Japan	機密情報の処理サービスの提供（機密書類及び媒体の収集、運搬、処分） 2021年9月24日付適用宣言書 第4版 The Provision of services for handling of confidential information -Collecting, Transportation and Disposal of confidential document and media Statement of Applicability, issued on 29/Sep/2021, Version 4.
株式会社要興業 足立支社 〒123-0864 東京都 足立区 鹿浜7-9-2 Kaname Kogyo Co., Ltd. Adachi Branch office 7-9-2 Shikahama, Adachi-ku, Tokyo 123-0864 Japan	機密情報の処理サービスの提供（機密書類及び媒体の収集、運搬、処分） 2021年9月24日付適用宣言書 第4版 The Provision of services for handling of confidential information -Collecting, Transportation and Disposal of confidential document and media Statement of Applicability, issued on 29/Sep/2021, Version 4.
株式会社要興業 入谷リサイクルセンター 〒121-0836 東京都 足立区 入谷9-28-20 Kaname Kogyo Co., Ltd. Iriya Recycle center 9-28-20 Iriya, Adachi-ku, Tokyo 121-0836 Japan	機密情報の処理サービスの提供（機密書類及び媒体の収集、運搬、処分） 2021年9月24日付適用宣言書 第4版 The Provision of services for handling of confidential information -Collecting, Transportation and Disposal of confidential document and media Statement of Applicability, issued on 29/Sep/2021, Version 4.

初回認証登録日：2007-11-06
最新更新日：2022-10-21
発効日：2022-11-06
有効期限日：2025-11-05

Page: 2 of 2

ISO27001の認証取得

CSRレポートの発行

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.10.要興業の強み～路線化の推進

東京23区内の路線化により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立

生産性向上

より短い距離でより多くの廃棄物を運ぶ

効率的な回収ルート設定による生産性向上

インフラ

東京23区内　収集拠点

8,082現場

(※)2022年3月末時点の
一般廃棄物定期便の収集拠点(単体)

路線化

東京23区内　運搬先

自社リサイクルセンター
東京23区内：8か所

行政の清掃工場
19か所

収集運搬車両
310台(単体)

ドライバー

**安全運転
運転効率UP**

- 特殊Gセンサ付きデジタルタコグラフ
- ドライブレコーダー
- GPS装置搭載無線

安全運転

- 独自開発の配車システム
- 全車両にハンディ端末を搭載
- 徹底したドライバー教育

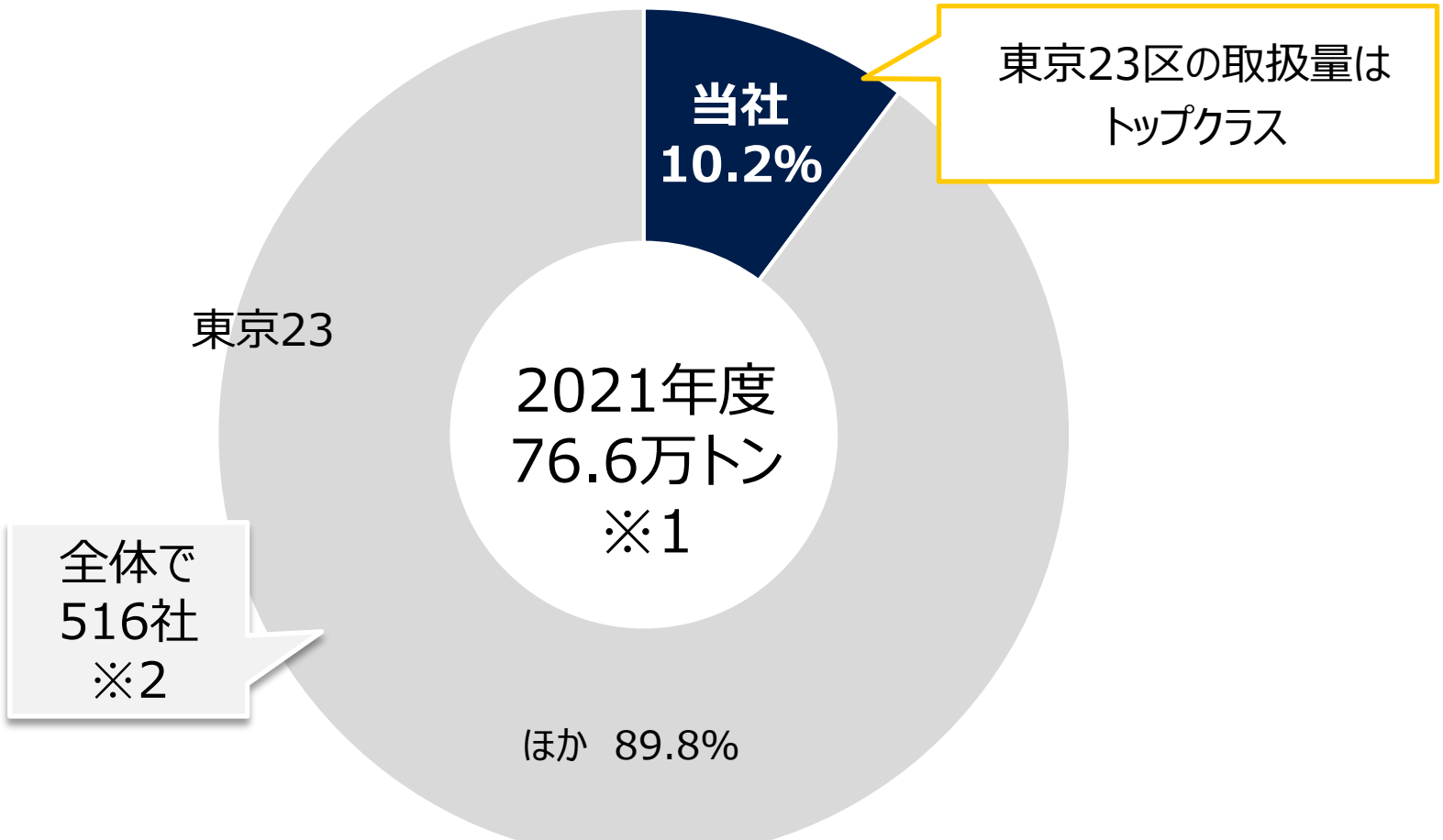
運転効率UP

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.11.要興業の強み～事業系一般廃棄物のシェア状況～

事業系一般廃棄物の収集運搬事業で業界トップクラス

◆ 東京23区産業廃棄物及び一般廃棄物持ち込み量



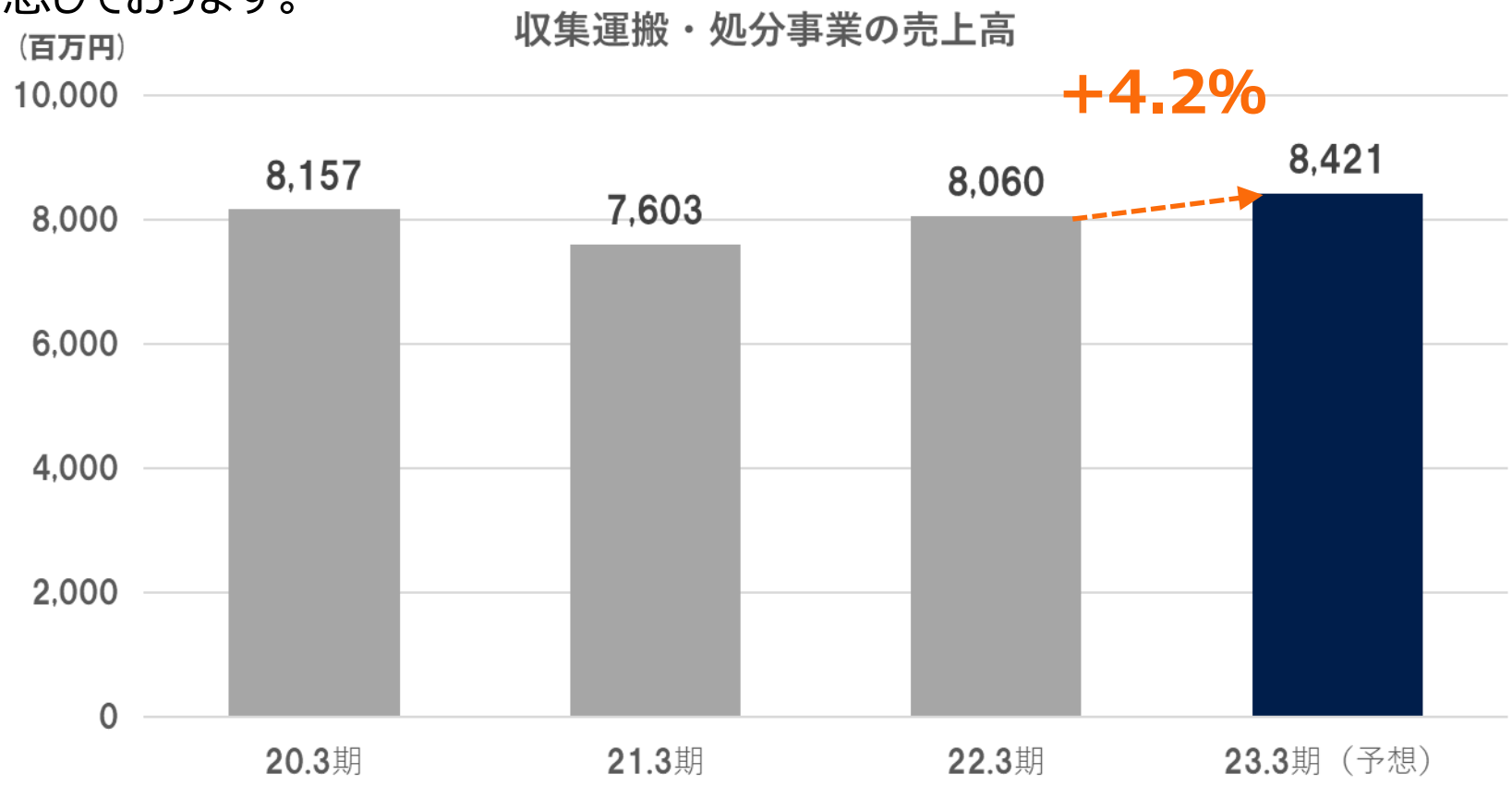
出所）※1 東京二十三区清掃一部事務組合HP　※2 東京都廃棄物事業協同組合調査結果報告書
令和4年3月　東京都中小企業団体中央会発行

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.3.12.売上高

2022年3月期までの実績と2023年3月期の予想は以下となります。

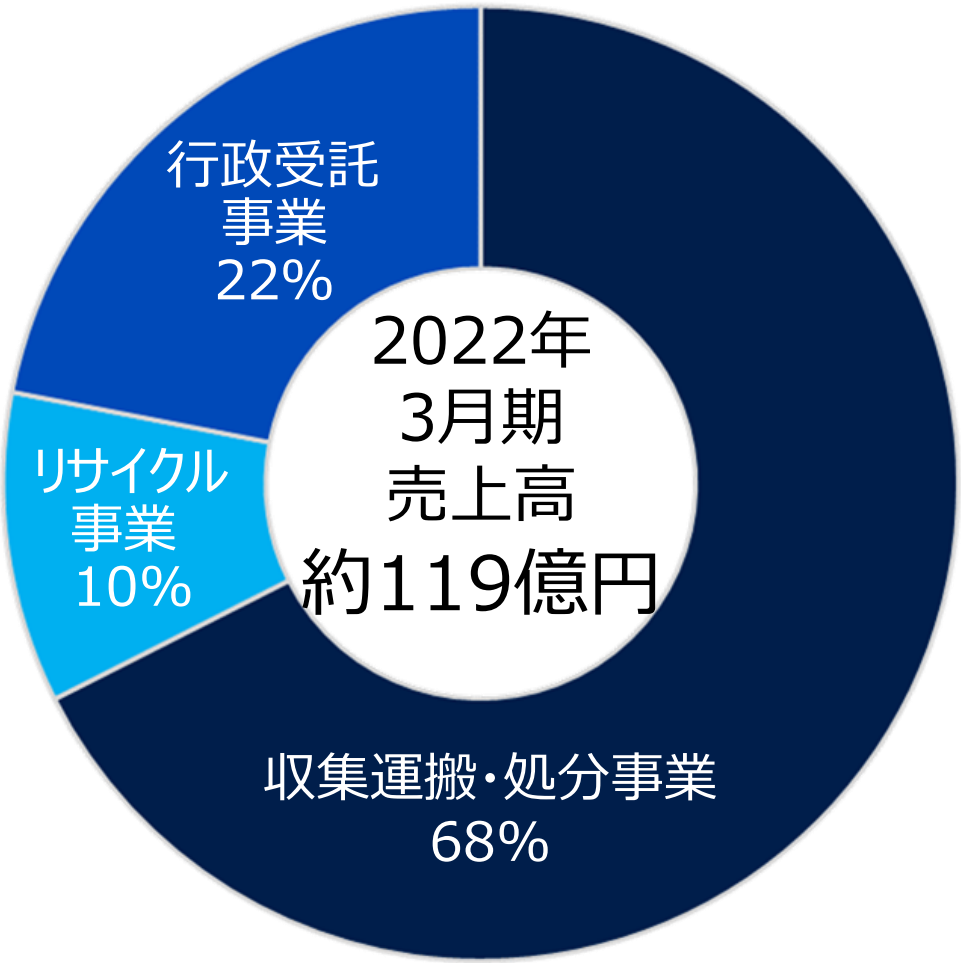
- 2023年3月期の収集運搬・処分事業の売上予想は84億2100万円と前年同期比4.2%の増収を見込んでおります。
- コロナ禍の影響で売上が落ちこんだ2021年3月期と比べると10.5%の増収になると予想しております。



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.4.1.リサイクル事業

リサイクル事業は、売上全体の10%を占める事業です。



収集運搬・処分事業

68%

リサイクル事業

10%

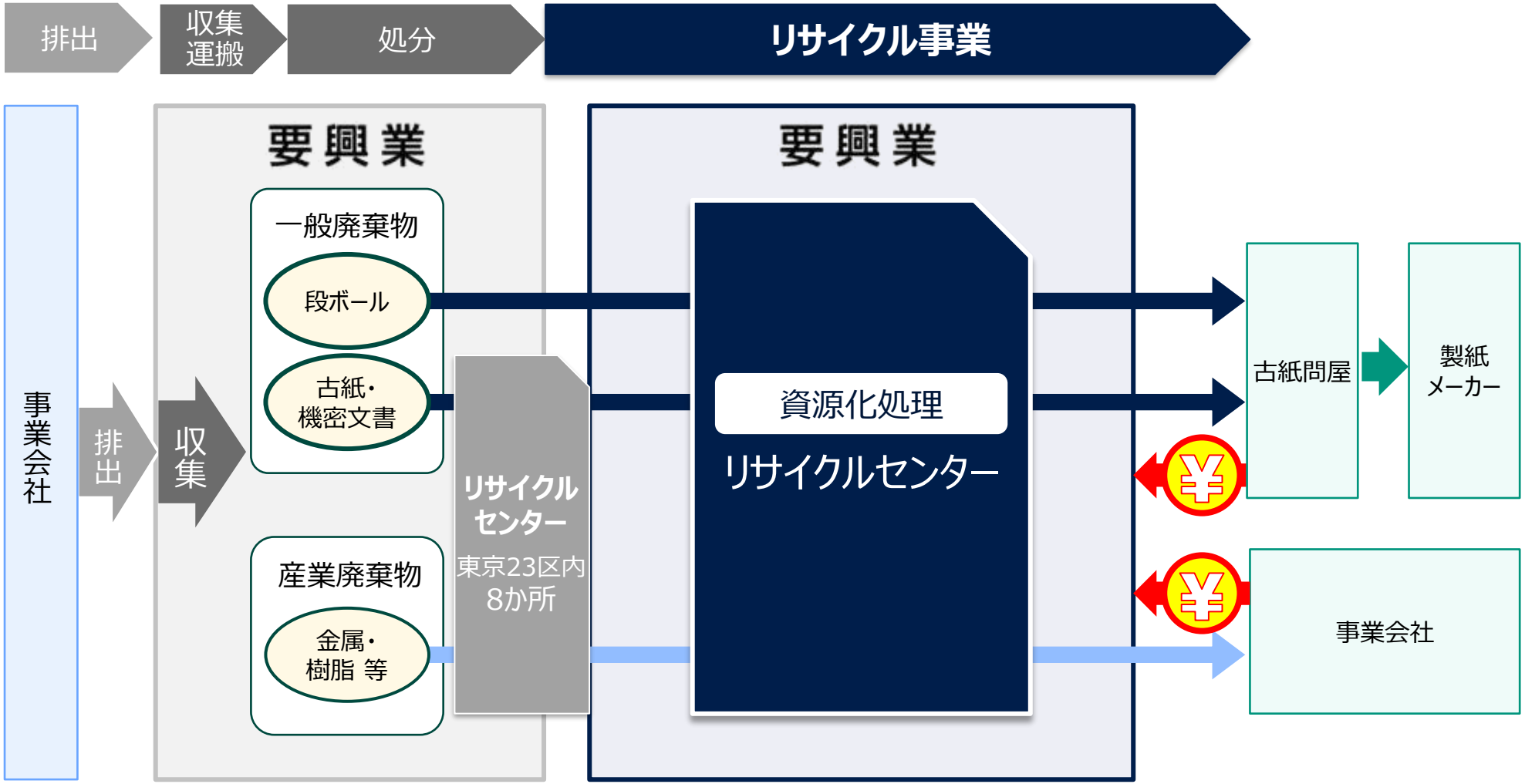
行政受託事業

22%

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.4.2.リサイクル事業とは

収集運搬処分事業で発生したモノを加工して、資源として販売する事業



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.4.3.要興業の強み～ 根幹事業である収集運搬処分事業で資源を確保～

根幹事業である収集運搬・処分事業を伸ばすことで資源の量を確保

- 収集運搬処分事業で契約した顧客先から出た廃棄物を由来とする資源を売却する事業のため、事業独自のコストは低く設定できている。

収集運搬・処分事業

リサイクル事業

売上高【販売】

業者・
事業会社

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.4.4.リサイクル事業で販売する資源

23区内の自社リサイクルセンター・アライアンス先で再資源化しています

古紙ベール

発泡スチロールインゴット

段ボールベール

アルミ缶プレス

PETベール

スチール缶プレス

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.4.5.要興業の強み～ 飲料メーカーのボトルtoボトルの取組に貢献～

飲料メーカーが主体となるボトルtoボトルの取組にもキープレーヤーとして貢献

- 飲料容器のボトル to ボトルに貢献

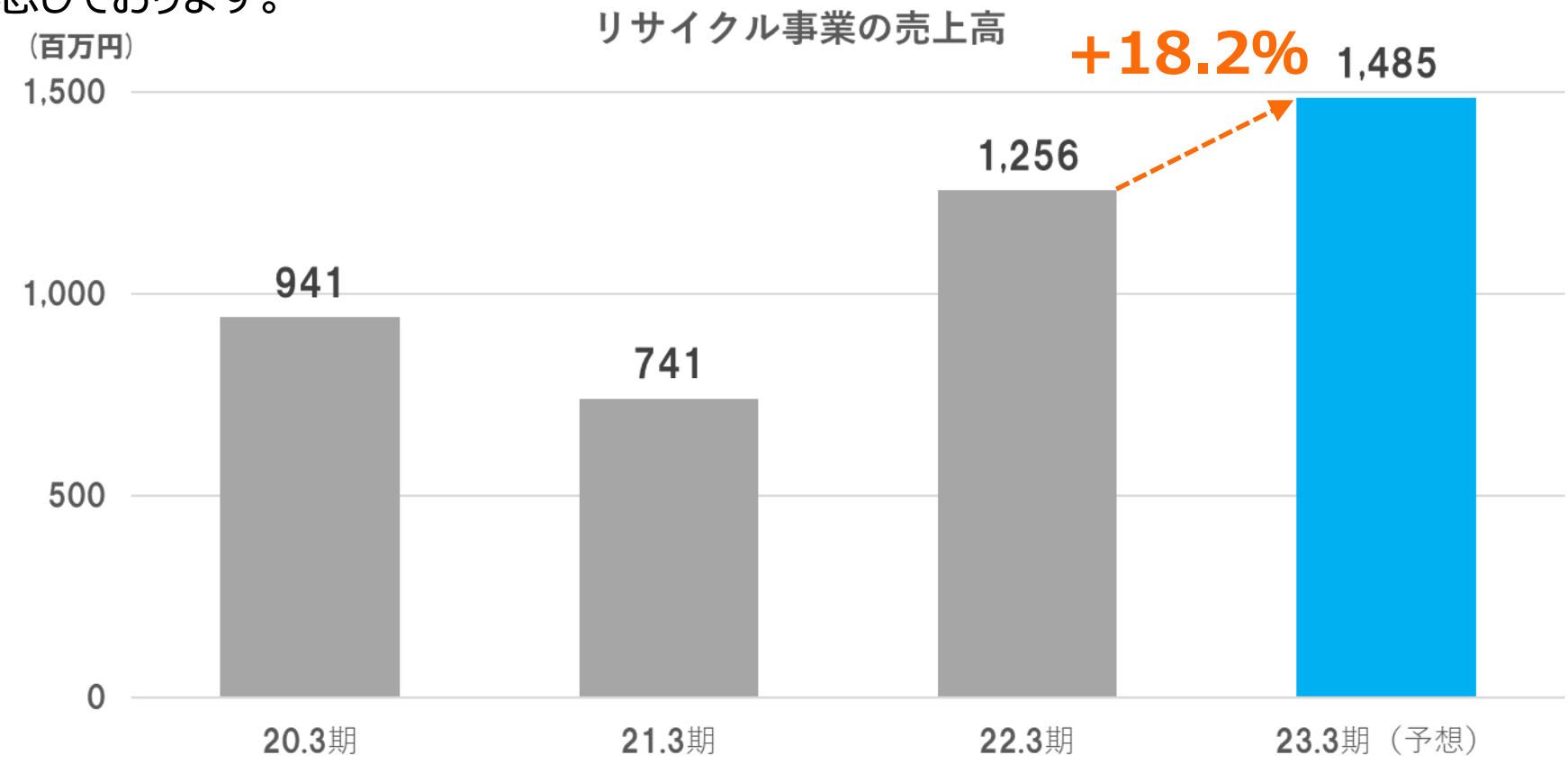
12 つくる責任 つかう責任

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.4.6.売上高

2022年3月期までの実績と2023年3月期の予想は以下となります。

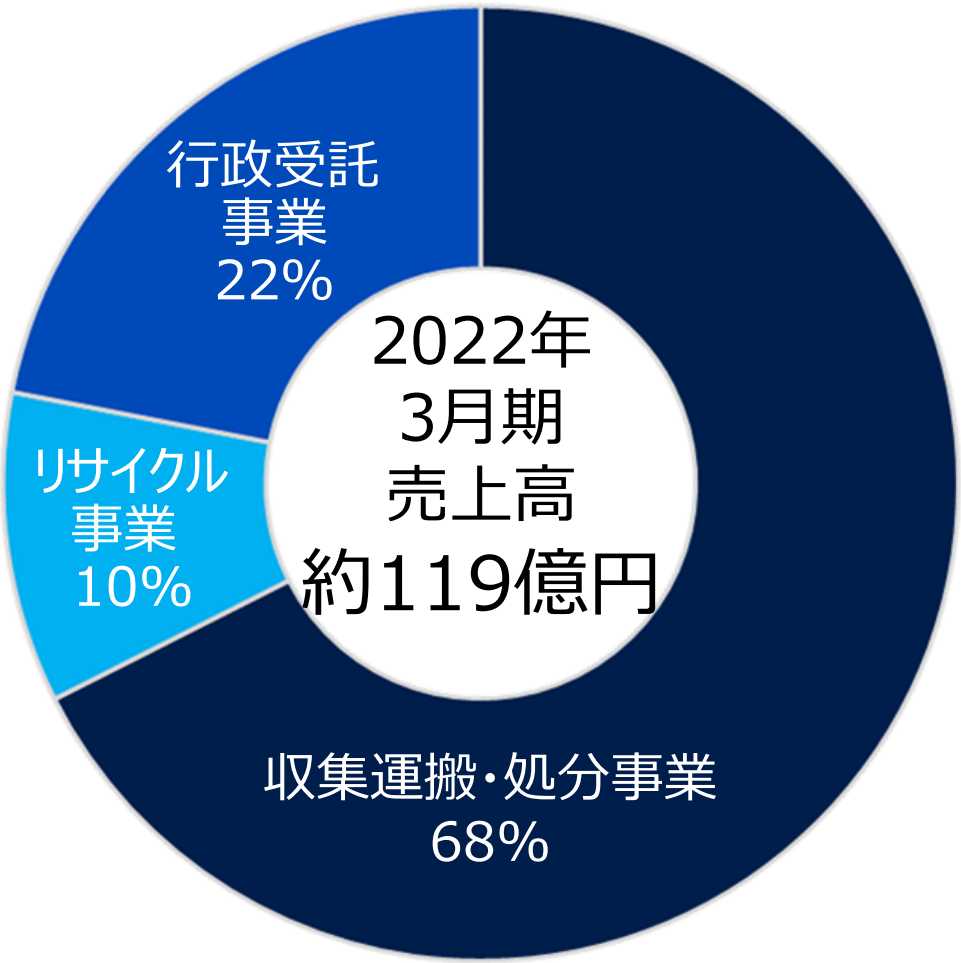
- 2023年3月期のリサイクル事業の売上予想は14億8500万円と前年同期比18.2%の増収を見込んでおります。
- コロナ禍の影響で売上が落ちこんだ2021年3月期と比べると約2倍の増収になると予想しております。



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.1.行政受託事業

行政受託事業は、売上高の概ね20%を占める事業です。



収集運搬・処分事業

68%

リサイクル事業

10%

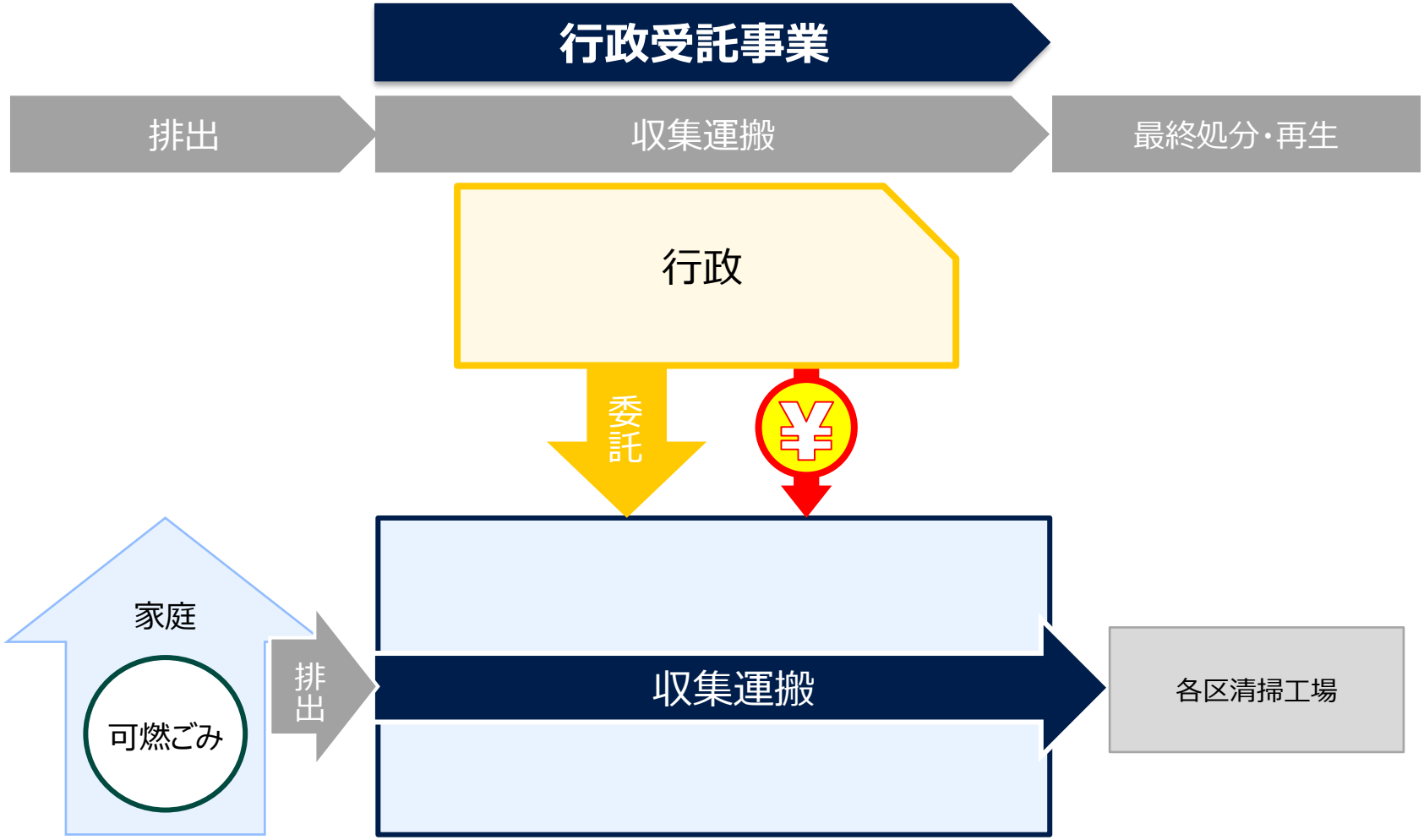
行政受託事業

22%

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.2.行政受託事業とは～家庭ごみの収集運搬～

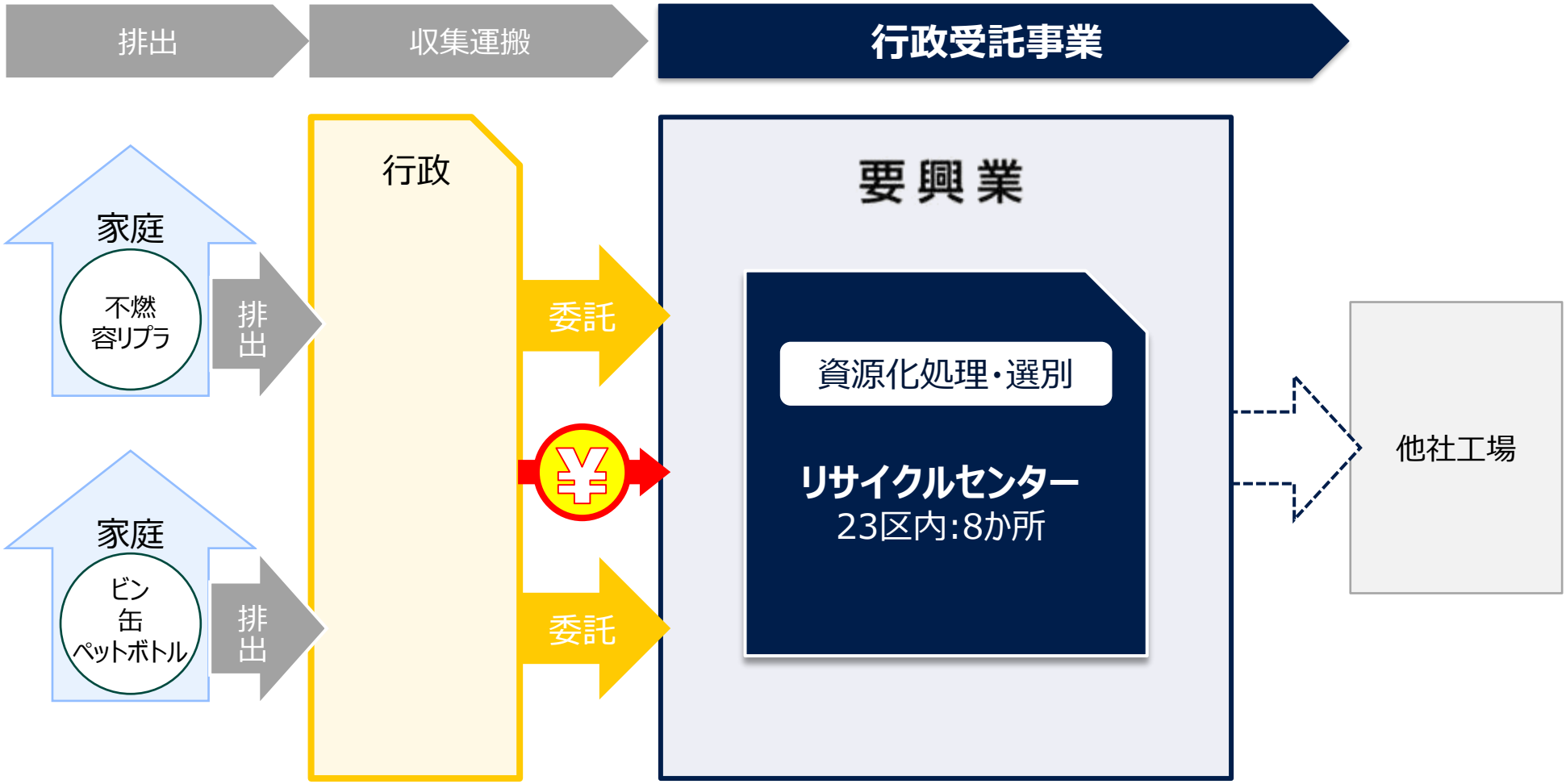
家庭ごみを収集し、行政区の清掃工場へ運搬



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.3.行政受託事業とは～リサイクルセンターでの資源化処理～

リサイクルセンターに家庭ごみを受け入れて、資源化処理



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

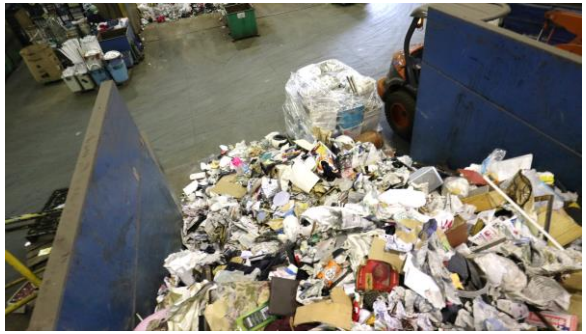
3.5.4.家庭ごみの収集運搬で使用する車両

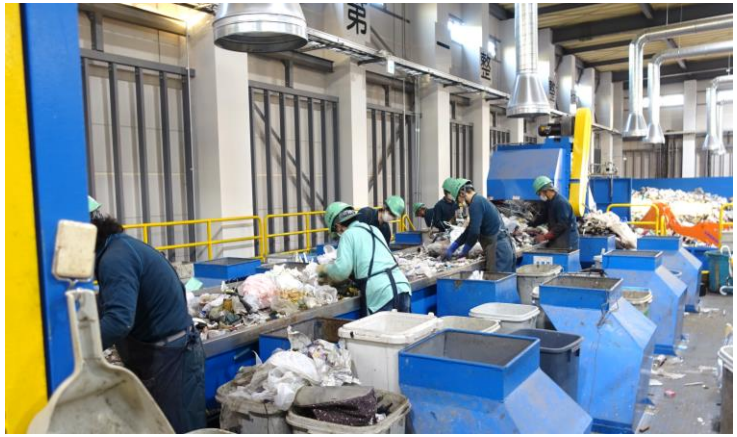
23区内の家庭ごみを収集運搬する車両

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.5.リサイクルセンターでの資源化処理

当社リサイクルでカテゴリー毎に選別し、アライアンス先へ搬出





Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.6.要興業の強み～ 行政区との強い結びつき

家庭ごみの処理は、事業継続が極めて重要。実績が信頼の証となる。

家庭ごみの収集運搬
〈㈱ヨドセイ〉

不燃ごみ資源化事業
〈㈱要興業〉

容器包装リサイクルプラスチック等のベール化を始めとした、プラへの取り組み〈㈱要興業〉

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.7.要興業の強み～不燃物資源化事業の遂行～

環境保全と循環型社会に貢献する理念を遂行するべく、不燃物資源化事業を切り拓く

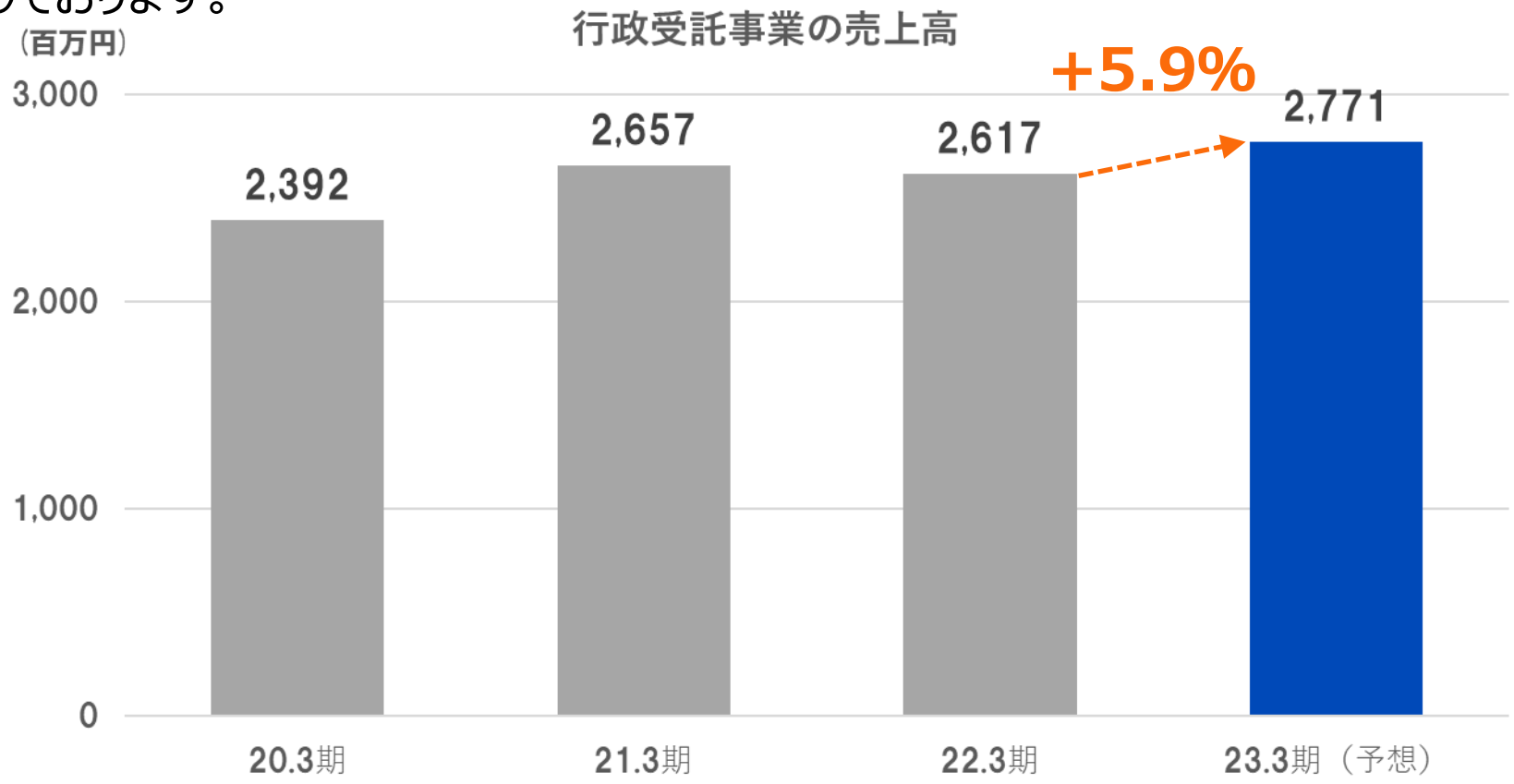
不燃物の分別資源化で自治体のSDGsに貢献

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

3.5.8.売上高

2022年3月期までの実績と2023年3月期の予想は以下となります。

- 2023年3月期の行政受託事業の売上予想は27億7100万円と前年同期比5.9%の増収と見込んでおります。
- コロナ禍の影響で売上が増加した2021年3月期と比べても4.3%の増収になると予想しております。



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

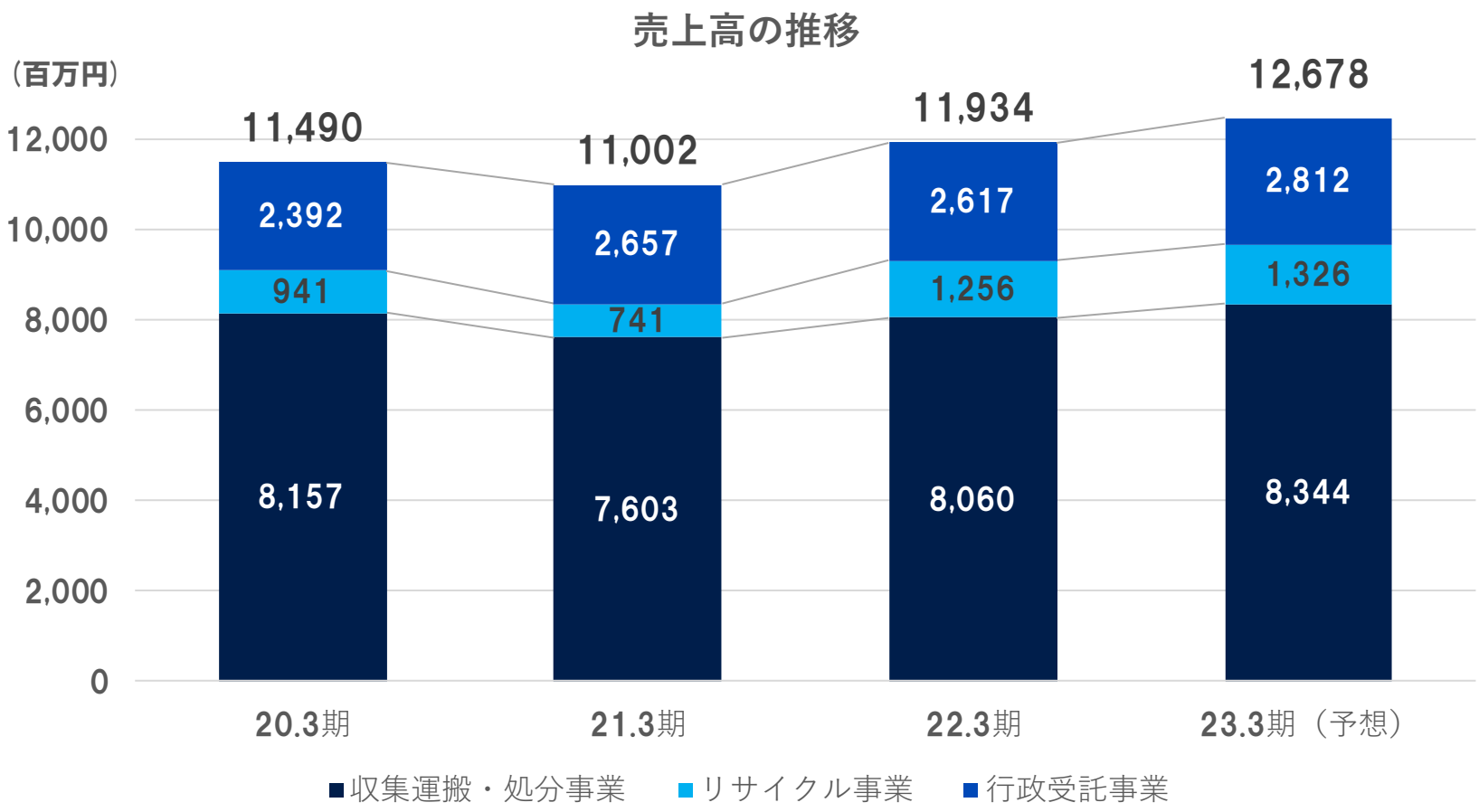
4 .2023年3月期　連結業績・配当予想

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

4.1.売上高

2022年3月期までの実績と2023年3月期の予想は以下となります。

- 売上高は126億7800万円と、前期対比6.2%の増加を予想しております。
- 全ての事業区分で売上が増加すると予想しております。

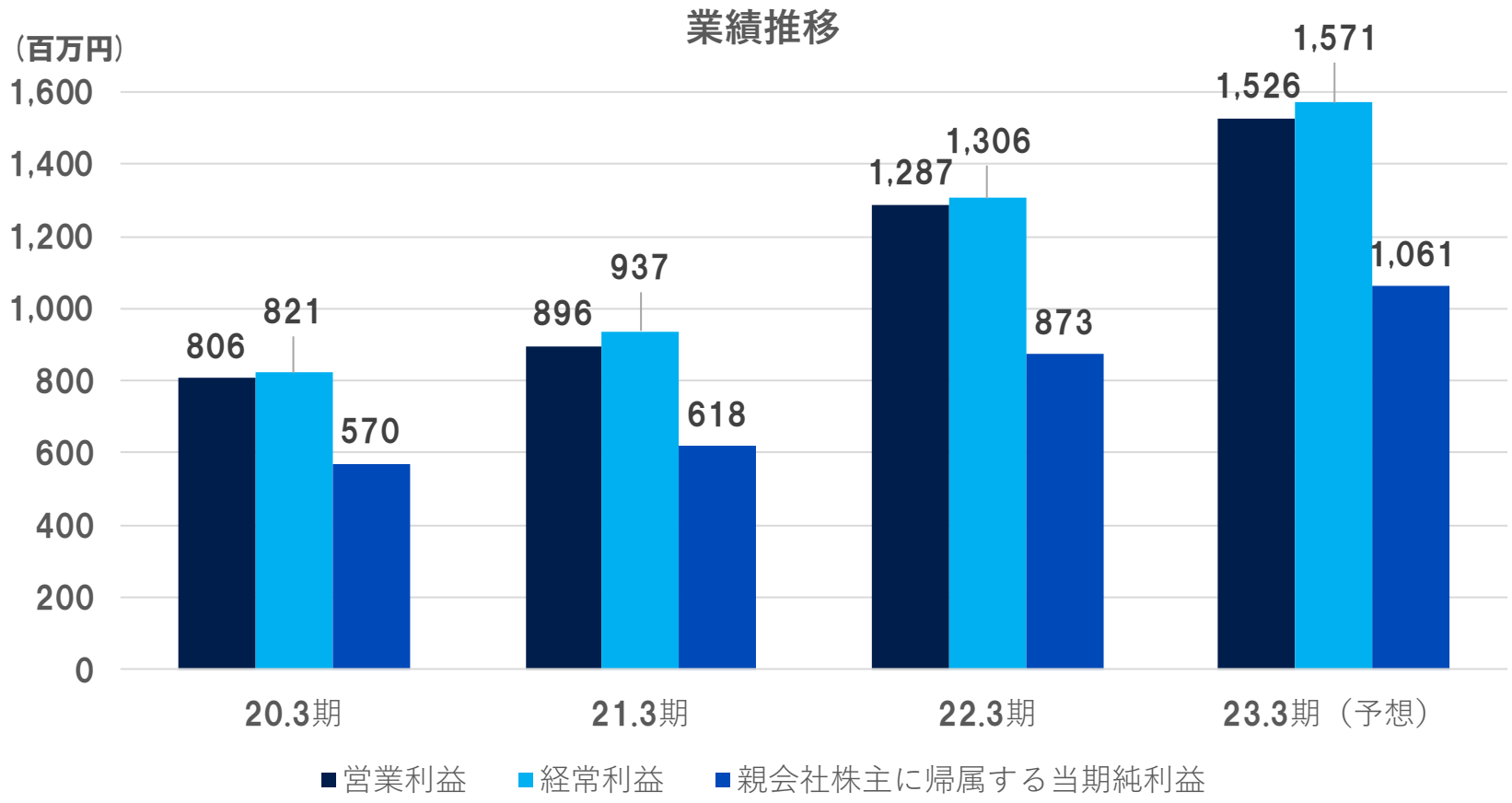


Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

4.2.利益額

2022年3月期までの実績と2023年3月期の予想は以下となります。

- 営業利益は前期比18.5%増の15億2600万円、経常利益は同20.3%増の15億7100万円、親会社株主に帰属する当期純利益は21.6%増の10億6100万円を予想しております。

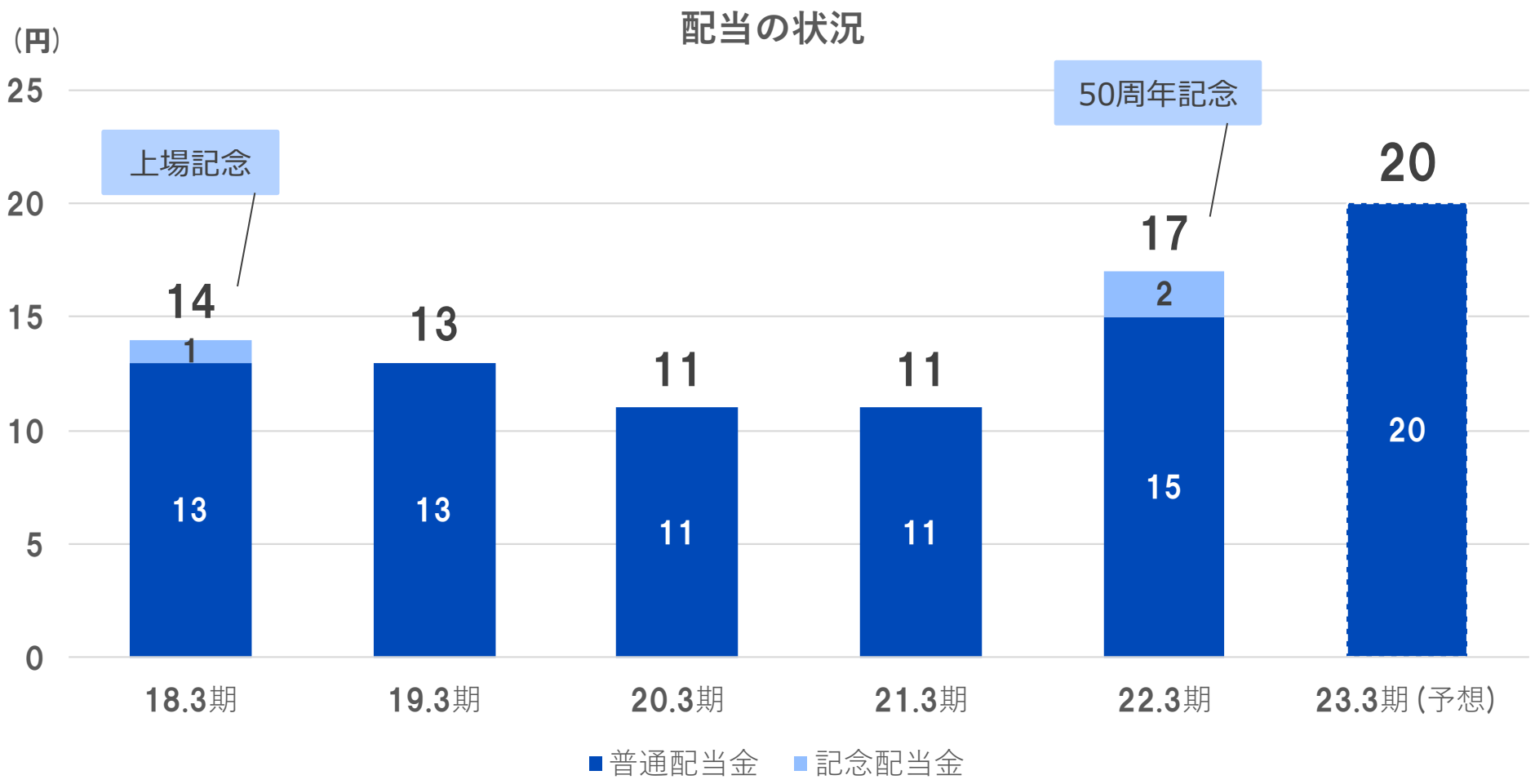


Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

4.3.2023年3月期の配当予想

配当も過去最高額を予想しております。

- 当社は配当性向30%水準を目安としております。2023年3月期につきましては、株主の皆様にお応えするため、3円増配となる20円の配当予想とさせていただきます。



Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

RECYCLING

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

中期経営計画（年内に公開予定）

要興業のウェブサイトから動画を配信する予定です。

https://www.kaname-k.co.jp/

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.

ご注意事項

本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。

Copyright © Kaname Kogyo Co., Ltd. All Right Reserved.